

平成 30 年 度

# 仙台市水道事業会計

## 決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市水道局

# 1. 決算の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 27～31 年度）に基づき、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道，エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら，お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては，年間総配水量が 1 億 2,029 万 9 千立方メートル，前年度比 16 万 1 千立方メートル（0.1%）増，年間有収水量が 1 億 1,350 万立方メートル，前年度比 3 万 4 千立方メートル（0.03%）減となり，有収率は前年度より 0.2 ポイント低下して 94.3%となりました。

経営面につきましては，経営基盤の強化を図るため，水道施設の適正な管理のためのアセットマネジメントの取り組みを推進するとともに，令和 2 年度以降 10 年間の事業運営指針となる基本計画の策定に着手しました。

次に，建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い，54 億 4 千 8 百万円を支出し，配水管延べ 35,863 メートルを布設しました。また，施設整備事業では，荒巻配水所更新工事や青葉山隧道改良工事を行ったほか，南中山配水所耐震補強工事，綱木坂送水ポンプ場非常用発電設備更新工事などを行い，38 億 9 百万円を支出しました。

財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益 280 億 4 千 7 百万円に対し，総費用 241 億 3 百万円で，差引 39 億 4 千 4 百万円の純利益となりました。

以上が決算の概況でございますが，今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

## 2. 事業実績表

区 分 \ 年 度	単 位	平成30年度 (E)	平成29年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,061,715	1,059,645	2,070	100.2
給水人口 (B)	人	1,058,549	1,056,300	2,249	100.2
年間総配水量 (C)	m <sup>3</sup>	120,298,943	120,138,044	160,899	100.1
（仙台市配水量）	m <sup>3</sup>	( 116,105,602 )	( 115,970,825 )	( 134,777 )	( 100.1 )
（他市町分水量）	m <sup>3</sup>	( 4,193,341 )	( 4,167,219 )	( 26,122 )	( 100.6 )
配水能力	m <sup>3</sup> /日	425,215	426,325	△ 1,110	99.7
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	329,586	329,145	441	100.1
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	359,172	358,848	324	100.1
使用給水栓数	栓	459,406	453,004	6,402	101.4
年間有効水量	m <sup>3</sup>	116,217,496	116,278,963	△ 61,467	99.9
年間有収水量 (D)	m <sup>3</sup>	113,500,467	113,534,750	△ 34,283	100.0
配水管延長	km	3,480	3,447	33	101.0
職 員 数 ( 管理者除く )	人	411	408	3	100.7
普及率 (B/A)	%	99.7	99.7	0.0	-
有収率 (D/C)	%	94.3	94.5	△ 0.2	-

### 3. 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成30年度予算額				平成30年度	翌年度	増減額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	(△減) (B)+(C)-(A)
水道事業収益	29,631,066	313,650	0	29,944,716	30,127,094	0	182,378
営業収益	26,763,146	20,000	0	26,783,146	26,913,867	0	130,721
給水収益	25,458,164	20,000	0	25,478,164	25,607,149	0	128,985
受託工事収益	124,317	0	0	124,317	112,486	0	△ 11,831
その他営業収益	1,180,665	0	0	1,180,665	1,194,232	0	13,567
営業外収益	2,865,302	292,375	0	3,157,677	3,205,086	0	47,409
受取利息	1,000	0	0	1,000	6,999	0	5,999
不動産賃貸料	31,397	0	0	31,397	33,271	0	1,874
水道加入金	1,068,857	300,000	0	1,368,857	1,451,890	0	83,033
他会計補助金	351,487	△ 1,025	0	350,462	351,098	0	636
国庫補助金	7,456	△ 6,600	0	856	874	0	18
長期前受金戻入	1,376,982	0	0	1,376,982	1,321,046	0	△ 55,936
雑収益	28,123	0	0	28,123	39,908	0	11,785
特別利益	2,618	1,275	0	3,893	8,141	0	4,248
固定資産売却益	1	1,275	0	1,276	1,276	0	0
過年度損益修正益	2,617	0	0	2,617	6,865	0	4,248
水道事業費用	27,881,310	△ 599,246	0	27,282,064	25,558,876	26,939	△ 1,696,249
営業費用	26,576,316	△ 1,170,000	0	25,406,316	23,830,717	26,939	△ 1,548,660
人件費	3,636,727	△ 250,000	0	3,386,727	3,111,510	0	△ 275,217
物品費	415,743	0	0	415,743	310,549	0	△ 105,194
経費	7,536,736	△ 691,000	0	6,845,736	6,187,793	26,939	△ 631,004
受水費	6,481,270	0	0	6,481,270	6,277,191	0	△ 204,079
減価償却費	7,920,143	△ 200,000	0	7,720,143	7,638,630	0	△ 81,513
資産減耗費	585,697	△ 29,000	0	556,697	305,044	0	△ 251,653
営業外費用	1,226,994	415,000	0	1,641,994	1,528,685	0	△ 113,309
支払利息	1,062,232	△ 13,000	0	1,049,232	1,048,319	0	△ 913
消費税及び	160,762	428,000	0	588,762	477,067	0	△ 111,695
地方消費税	4,000	0	0	4,000	3,299	0	△ 701
雑支出	48,000	155,754	0	203,754	199,474	0	△ 4,280
特別損失	48,000	0	0	48,000	43,721	0	△ 4,279
過年度損益修正損	0	2,094	0	2,094	2,093	0	△ 1
固定資産売却損	0	153,660	0	153,660	153,660	0	0
減損損失	30,000	0	0	30,000	0	0	△ 30,000
予備費	1,749,756	912,896	—	2,662,652	4,568,218	△ 26,939	1,878,627
当年度純損益(税込み)	976,832	1,263,863	—	2,240,695	3,943,886	△ 24,944	1,678,247
当年度純損益(税抜き)	0	0	—	0	0	—	—
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	0	2,943,668	—	2,943,668	2,943,668	—	—
その他 未処分利益剰余金変動額	976,832	4,207,531	—	5,184,363	6,887,554	△ 24,944	1,678,247
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)							

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ その他未処分利益剰余金変動額は、減債積立金の使用によって発生する未処分利益剰余金の額である。

## (資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成30年度 予 算 額					平成30年度 決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流 用 増 減 額 (△ 減)	繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業資本的収入	7,130,460	△ 593,847	0	2,137,735	8,674,348	5,390,286	2,314,413	△ 969,649
企業債	5,000,000	△ 500,000	0	1,879,000	6,379,000	3,927,000	1,652,000	△ 800,000
固定資産売却代金	1	3,153	0	0	3,154	3,154	0	0
出 資 金	772,708	△ 137,000	0	39,886	675,594	540,958	115,758	△ 18,878
国庫補助金	1,014,820	0	0	218,849	1,233,669	478,831	535,405	△ 219,433
開発負担金	238,036	50,000	0	0	288,036	340,726	0	52,690
負担金	99,619	△ 10,000	0	0	89,619	93,088	11,250	14,719
その他資本的収入	5,276	0	0	0	5,276	6,529	0	1,253
水道事業資本的支出	17,400,361	△ 1,122,000	0	3,301,619	19,579,980	15,118,868	3,823,022	△ 638,090
建設改良費	11,370,329	△ 818,000	0	3,301,619	13,853,948	9,393,237	3,823,022	△ 637,689
配水管整備事業費	6,029,990	△ 180,000	5,997	2,064,358	7,920,345	5,447,509	2,248,936	△ 223,900
施設整備事業費	4,810,780	△ 332,000	△ 5,997	1,201,844	5,674,627	3,809,340	1,530,697	△ 334,590
受託等工事費	529,559	△ 306,000	0	35,417	258,976	136,388	43,389	△ 79,199
企業債償還金	6,030,032	△ 304,000	0	0	5,726,032	5,725,631	0	△ 401
差 引	△ 10,269,901	528,153	0	△ 1,163,884	△ 10,905,632	△ 9,728,582	△ 1,508,609	△ 331,559
補てん財源	18,978,884	1,155,099	0	1,163,884	21,297,867	21,209,729	1,483,665	1,395,527
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	772,924	△ 64,518	0	244,565	952,971	624,332	283,186	△ 45,453
損益勘定留保資金	7,034,755	△ 44,246	0	919,319	7,909,828	6,447,138	1,225,423	△ 237,267
減債積立金	0	2,943,668	0	0	2,943,668	2,943,668	0	0
当年度純損益	976,832	1,263,863	0	0	2,240,695	3,943,886	△ 24,944	1,678,247
前年度繰越金	10,194,373	△ 2,943,668	0	0	7,250,705	7,250,705	0	0
当年度末資金剰余額	8,708,983	1,683,252	0	0	10,392,235	11,481,147	△ 24,944	1,063,968

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## ○資金不足比率

(単位：千円、%)

資金不足額 (A)	事業規模(※) (B)	資金不足比率 (A)/(B)
0	24,833,571	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益 (消費税及び地方消費税抜き)

## ○未処分利益剰余金の処分(案)について

未処分利益剰余金6,887,554千円については、2,943,668千円を資本金に組み入れ、3,943,886千円を減債積立金に積み立てる。

## 4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	平成30年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	5,447,509	<p>基幹管路の更新・耐震化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹管路更新 (口径 400ミリ 118.6 m) (芋沢字新田地内送水管更新工事 ほか)</li> <li>・ 基幹管路新設 (口径 100～500ミリ 2,270.1 m) (白沢湯元送水管(秋保町境野地内)新設工事 ほか)</li> </ul> <p>配水支管の更新・耐震化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配水支管更新 (口径 75～300ミリ 27,252.8 m) (卸町東一丁目地内配水支管更新工事 ほか)</li> <li>・ 配水支管新設 (口径 50～200ミリ 6,221.1 m) (都市計画道路元寺小路福室線五輪二丁目・银杏町地内 配水支管新設工事 ほか)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 35,862.6 m</p>
施設整備事業	3,809,340	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒巻配水所更新工事</li> <li>・ 青葉山隧道改良工事</li> <li>・ 南中山配水所耐震補強工事</li> <li>・ 茂庭浄水場配水池耐震補強工事</li> <li>・ 綱木坂送水ポンプ場非常用発電設備更新工事</li> <li>・ 監視システムテレメータ基地局移設工事</li> <li>・ 災害時給水栓設置工事(市立小中学校9校)</li> </ul>
受託等工事	136,388	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 扇町五丁目地内配水管移設工事</li> <li>・ 二木字笠神地内配水管災害復旧工事</li> <li>・ 都市計画道路宮沢根白石線松森字明神地内配水支管更新 及び南光台七丁目地内配水支管移設工事</li> </ul>
計	9,393,237	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。